



ネイチャーセンターだより

2021年5月号

新・いきもの図鑑



【参考文献】

花輪伸一、1996. 日本動物大百科 3 鳥類 1. 株式会社平凡社
環境省自然環境局生物多様性センター、2012. 鳥類アトラス WEB 版 (鳥類標識調査回収記録データ). (オンライン)
<http://www.biodic.go.jp/birdRinging/index.html>, 参照 2021-4-23.

キョウジョシギ (シギ科)

キョウジョシギは、ムクドリと同じくらいのサイズの比較的小型のシギです。春から夏、オスは、左の写真のように美しい姿をしています。メスは、オスよりも全体的に淡く見えます。くちばしは、短く上に反っており、このくちばしを使って石をひっくり返し、甲殻類や貝類などをさがして食べます。

繁殖地は北極圏で、冬は南アジアやオセアニアなどで過ごします。日本には、旅鳥として春と秋に渡来し、春国岱周辺では、4月下旬から6月上旬、8月上旬から9月下旬に見られます。山階鳥類研究所による標識調査によって、根室市で標識をつけられたキョウジョシギが9,102km 離れたオーストラリア南部のヴィクトリア州で見つかっています。

中村登流、中村雅彦、1995. 原色日本野鳥生態図鑑<水鳥編>. 保育社.
高野伸二、2015. フィールドガイド日本の野鳥増補改訂新版. 公益財団法人日本野鳥の会. 東京.

NEWS

今年もミヤコドリが帰ってきました

4月5日、観察窓から春国岱の様子を見てみると、春国岱湾の干潟でミヤコドリを2羽見つけました。今年も干潟の春が始まりました。

春国岱周辺での2006年から2020年の平均の初認日(シーズン内で初めて記録された日)は、4月9日なので、今年は、4日ほど早い記録となりました。右の表1を見ると、2016年より前は、4月10日前後の初認が多かったのですが、2016年以降は、2019年を除いて、4月9日より前に渡来しているようです。もしかすると、渡来時期がすこし早くなっているのかもしれませんが。

今後もミヤコドリの初認日の変化を調べてゆきたいと思います。

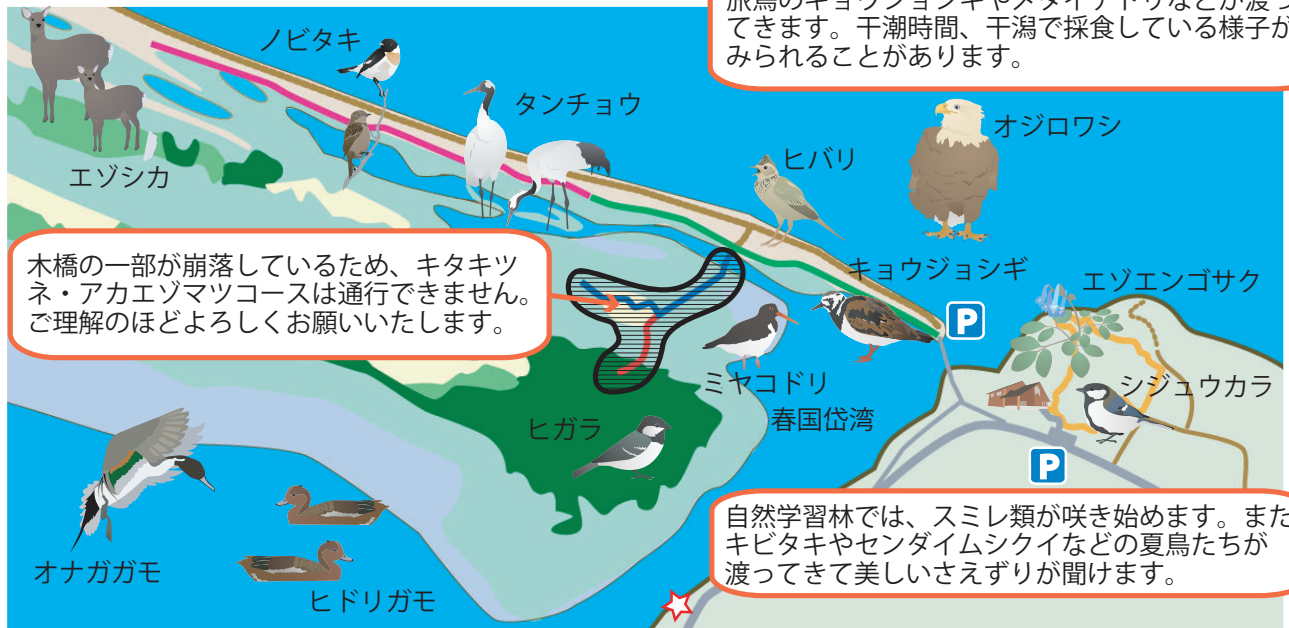


表1 春国岱周辺の2006年から2021年までのミヤコドリの初認日の一覧

年	初認日
2006	4月10日
2007	4月10日
2008	4月12日
2009	4月7日
2011	4月17日
2012	4月7日
2013	4月6日
2014	4月13日
2015	4月13日
2016	4月6日
2018	4月8日
2019	4月14日
2020	4月5日
2021	4月5日

※2010年と2017年の初認日は、休館日の次の日であったため除いています。

見どころMAP



旅鳥のキョウジョシギやメダイチドリなどが渡ってきます。干潮時間、干潟で採食している様子がみられることがあります。

木橋の一部が崩落しているため、キタキツネ・アカエゾマツコースは通行できません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

自然学習林では、スミレ類が咲き始めます。また、キビタキやセンダイムシクイなどの夏鳥たちが渡ってきて美しいさえずりが聞けます。

- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

<キタキツネ・アカエゾマツコースの補修の予定は、分かりしだいネイチャーセンターだよりやホームページ、Facebookでお知らせします。>

5月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ	+	少数が風蓮湖周辺に残り、子育てをしている。干潮時、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、魚や水鳥などを狙っている姿が見られる。
タンチョウ	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで採食している様子や、休む様子がよく見られる。5月は、抱卵・ふ化の時期でとても神経質になっている。巣を探したりせず、落ち着かないようすのタンチョウがいたら近づかずすぐに離れてほしい。
オオジシギ	○	ネイチャーセンター駐車場付近や自然学習林に隣接する草原で、オスがメスに求愛するため「ズビャク、ズビャク」と鳴きながら飛び、「ゴゴゴ」と尾羽で音を出しながら急降下する姿が見られる。
ミヤコドリ	○	5月上旬には数が減っていき見られなくなる。5月の終わりまで残っているものもいるが少ない。
春国岱	野鳥(森)	森からルリビタキやミンサザイのさえずりがよく聞こえるようになる。下旬には、カッコウも渡ってくる。運が良いとクマガウの鳴き声やドラミングも聞こえるかもしれない。
	野鳥(草原)	海岸の草原ではヒバリやハクセキレイのさえずりがよく聞かれる。風蓮湖の周りでは、ノビタキやオオジュリンが見られる。
	花	エゾノコウボウムギ(昨年、5月23日開花)・ハマハタザオ(昨年、5月23日開花)・ヒメイチゲ(昨年、5月23日開花)などが見られる。
自然学習林	野鳥	夏鳥が続々と渡ってくる。5月上旬にはセンダイムシクイやエゾムシクイなどが渡来し、下旬にはキビタキが見られる。
	花	エゾネコノメソウ(昨年、5月26日開花)・ミミナグサ(昨年、5月26日開花)・ツボスミレ(昨年、5月26日開花)・ミヤマスミレ(昨年、5月26日開花)・フデリンドウ(昨年、5月26日開花)・オオバナノエンレイソウ(昨年、5月26日開花)などが見られる。

コクガン

4/13 13:30～14:00、コクガン1羽がネイチャーセンターの前浜に現れました。波打ち際を歩きながら、水にひたされた浜辺の砂をつついて採食。その後、オナガガモの群れの中で羽づくろいをしていました。
(古南幸弘観察)

コクガンは毎年、秋と春に野付半島と風蓮湖に大きな群れが現れますが、ネイチャーセンターの近辺で見られるのは珍しく、過去の記録はだいたい、根室湾の沖の方を密集した群れで泳いでいたという観察例でした。今回は浜辺で何かを食べていましたが、よくオオハクチョウがアマモを食べているあたりでしたので、おそらくアマモではないかと思われます。

＜春国岱における最近のコクガンの記録＞

2018/2/27 波が砕けるラインの少し沖合を3羽～17羽の群れが泳いでいた。

2018/12/20 春国岱駐車場の沖合に西の方から1羽が飛来。海面を泳いでいた。

2020/1/4 沿岸氷の縁を2羽が東の方から水面上を低く飛んできて、時々着水してはまた飛んで行った。

2020/11/16 春国岱先端を1羽が飛んでいた。

2020/11/26 春国岱先端部の風蓮湖上に42羽+を確認。



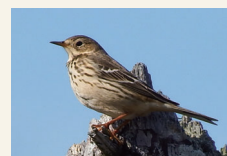
しゅん くに たい

春国岱クイズ

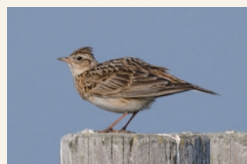
春国岱にタヒバリがたくさんやってくる季節になりました。この鳥は、春と秋にだけ現れ、夏は根室よりさらに北の地方で子育てをする渡り鳥（旅鳥）です。

さてこのタヒバリ、あまりなじみのない人も多いかもしれませんが、実は私たちの身近にいるある鳥の親戚です。では、この「ある鳥」とは、次のうちのどれでしょうか？

- ①ヒバリ。名前も色合いも似ているから
- ②ハクセキレイ。しっぽをぴよこぴよこ上下にふるしぐさが似ているから
- ③オナガガモ。春と秋だけ見られるところが似ているから



タヒバリ



ヒバリ



ハクセキレイ



オナガガモ

春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

●行事参加者募集!

◆第26回タンチョウイラストコンテスト2021 作品展

道東の小中学生が描いたタンチョウの作品、展示します。開館中はいつでもご覧いただけます。 ・会期:5月8日(土)～5月23日(日)・会場:ネイチャーセンター

◆小鳥の小道でたからさがしラリー

自然学習林でおたからさがしをしよう!ネイチャーセンターで宝の地図をうけとって、小鳥の小道(1.4km)を一まわりする間に、いろんなお宝の写真をとって来ててください。全部の写真をとれた人には、ちょっとしたプレゼントをさしあげます。お申し込みは、当日、ネイチャーセンターで。

- ・開催日:5月1日(土)～5月5日(水) 10時～16時に受付(17時終了) ・受付:春国岱ネイチャーセンター(事前予約不要)
- ・対象:どなたでも(小鳥の小道をご自分で歩ける方)
- ・服装:長ぐつ、長そで、長ズボン、ぼうし;歩きやすい服そで、マスクをして来てください。
- ・持ち物:えんぴつかボールペン、カメラ(デジカメやカメラついたのけいたい電話)、虫よけスプレー

◆小鳥の小道のバードウォッチング

東梅自然学習林周辺を散策し、森や原野に渡来した夏鳥をじっくり観察します。

- ・開催日:5月16日(日) 7:00～9:30(※雨天等悪天候の場合は5月23日(日)に順延) ・集合場所:春国岱ネイチャーセンター
- ・対象:バードウォッチングに興味のある小学校高学年～大人(初心者歓迎) ・定員:20人(先着順) ・参加費:100円(保険代)
- ・持ち物:帽子、歩きやすく汚れてもいい靴または長ぐつ、マスク、飲み物、筆記用具、お持ちの方は双眼鏡(貸出あり)
- ・申込方法:電話、メール、またはネイチャーセンターにご来館の時に。参加者全員の氏名、小学生は学年もお知らせください。
Tel:0153-25-3047 E-mail:nemu_nc@marimo.or.jp

◆谷口高司さんの「タマゴ式」鳥絵塾 in 春国岱

プロの野鳥図鑑画家の谷口高司さんから直接、バランスよく鳥の絵を描くコツを教わります。

- ・開催日:5月30日(日) ①13:00～13:45ノゴマに挑戦 / ②14:30～15:15メダイドリに挑戦 ・集合場所:春国岱ネイチャーセンター
- ・対象:大人～小学5年生(ただし小学生以上で興味のあるお子さんにご参加いただけますが、対象年齢にあわせて講座内容になりますのでご承知ください。親御さんと参加される場合も、席は離しての受講となります。)
- ・定員:15人(各回) ・参加費:500円(各回) ・持ち物:A4版のクリアファイルをお持ちいただくと、作品のお持ち帰りに便利です。
- ・申込方法:電話、メール、またはネイチャーセンターにご来館の時に。参加者全員の氏名、小学生は学年もお知らせください。
Tel:0153-25-3047 E-mail:nemu_nc@marimo.or.jp
- ・主催:フィールドアート社

★新型コロナウイルス対策のため、ご参加の際に、当日から2週間以内までの健康状態等について確認させていただきます。また、行事を中止させていただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。

募集!

ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループ「スंक」で活動して下さるメンバーを常時募集しています。「スंक」は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的としています。月に1回、ミーティングを行い(基本的に最終火曜日)、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象:18歳以上
- ◆年会費(ボランティア保険料含む):1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



クイズのこたえ ② タヒバリは、色合いは全然違いますが、ハクセキレイと同じ仲間(セキレイ科)です。水辺の開けた場所に住んでいるところも似ています。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

HP. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日:(開館時間9:00～17:00)

5月6・7・10・11・12・19・26日 6月2・9・16・23・30日

◆団体でご利用の方へ(事前予約制)

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録